

# 競技注意事項

## 1 競技規則

本大会は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会競技注意事項によって実施する。

## 2 練習について

- (1) 練習については、役員（練習会場係）の指示に従い、原則補助競技場を使用すること。野球場側は大会中であるため安全に留意すること。
- (2) バックスタンド下、雨天練習場は招集所として使用するため、原則使用禁止とする。
- (3) 本競技場での練習については7：30から8：30まで認める。
- (4) 本競技場・補助競技場ともに逆走は禁止する。
- (5) トラックにミニハードル等、私物の道具を置くことは禁止する。
- (6) 周回での練習はジョグ程度として、7：30から8：30までとする。それ以前やそれ以降の時間帯については、補助競技場とする。野球場は大会中であるため妨げにならないようにする。

## 3 選手の招集について

- (1) 招集所は、競技場第3コーナー付近（バックスタンド下）で行う。
- (2) 招集時間は、開始・完了ともに、競技順序に記載された時刻で行う。
- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとして出場を認めない。
- (4) 招集の手順
  - ① 招集開始時刻に招集場所にて競技者本人が競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・競技用シューズのスパイクピン・ウェアや所持物の商標の点検を受ける。
  - ② 出場者は腰ナンバーを受け取り、競技終了後に返却すること。
  - ③ 携帯電話、ミュージックプレイヤー、及び外部と通信機能のある腕時計等、競技規則 TR6.3.2 に係る電子機器を持ち込んではいけない。
  - ④ 代理での点呼は認めない。
  - ⑤ 各種目を棄権する場合は、招集開始時刻前に競技者係へ申告すること。

## 4 アスリートビブス（ナンバーカード）について

- (1) 選手は、協会登録のアスリートビブスを胸部と背部につけること。
- (2) 小学生のアスリートビブスは、主催者側で用意して大会受付時に配布する。

## 5 競技場の入場について

- (1) 招集所から競技場への入場は、競技者係の指示に従い、決められたルートで移動すること。
- (2) 競技終了後は、役員の指示に従い、場外へ退場する。
- (3) 競技者以外（付き添い等）は、招集所以降、競技場所へは立ち入る事ができない。
- (4) 6位までの入賞者は、競技役員の指示で表彰者控え場所へ移動し待機すること。

## 6 競技について

- ① 全種目において、計時は原則写真判定装置で行う。
- ② スタートは、小学生においては同じ競技者が2回不正スタートをしたとき、その競技者を失格とし、オープン参加として走る。
- ③ 4年生以上のスタートのコールはイングリッシュコールで行う。

## 7 競技用靴について

- (1) スパイクピンの長さは9mm以内とする。
- (2) 競技用靴の厚さについては、中学生はWAシューズ規定（TR5.5）を適用する。

## 8 抗議について

結果発表のアナウンス後、結果に対する抗議は、競技規則（TR8.2）に定められた時間内（30分以内）に競技者自身、もしくはチームを公式に代表する指導者等から総務（総務員）を通じて審判長に申し出ることとする。審判長からの裁定に納得できない場合は、預託金（1万円）を添えて、総務（総務員）に準備している「抗議申立書」で申し出る。

## 9 表彰について

- (1) 各種目1位～6位まで賞状を授与する。
- (2) 各種目「入賞者紹介」という形式で事前に賞状を渡した状態で紹介式を行う。

## 10 その他

- (1) 更衣室については、競技場内の更衣室を使用する。控え場所としての利用は禁止する。また、貴重品は各自で保管すること。
- (2) 本部・医務室については、メインスタンド内に設ける。
- (3) 本競技場および補助競技場の開門は、7：30とする。係の指示に従い入場すること。
- (4) 役員主任会は8：15から第一会議室にて行う。
- (5) 補助員集合は、8：30からメインスタンド下走幅跳ピットで行う。
- (6) メインスタンドへのテント設置及び座席にマーカーなどをおいての場所取り行為を禁止する。
- (7) 各自が出したゴミは必ず持ち帰ること。
- (8) 個人情報の取り扱いについて
  - ① 大会プログラムに掲載する。
  - ② 記録掲示板、ホームページに掲載する。
  - ③ 競技場内アナウンスに使用する。
  - ④ 競技結果等、報道機関、関係各所に提供する。
  - ⑤ 優勝記録や大会記録等、次年度以降にもプログラム等に掲載する。
  - ⑥ 各報道機関・メディアに写真や映像が公開されることもある。
- (9) 本大会中の事故について主催者は応急処置のみ行い、一切の責任を負わないので参加者はスポーツ障害保険に加入しておくこと。